# 2014年度　第2四半期
# 事業環境と今後の見通し

代表取締役執行役員　社長
林　朝則

2014年11月5日（水）

船井電機株式会社

証券コード　6839

1. 上期（4月～9月）の概要
2. 下期（10月～3月）の事業環境見通し
3. 通期の見通しの修正
4. 成長戦略
5. 事業ポートフォリオの再構築
6. 工場立地の最適化

# 1．上期（4−9月）の概要

| | 前上期実績 | 当上期計画 | 当上期実績 |
|---|---|---|---|
| 売　上　高 | 1,205億円 | 937億円 | 1,158億円 |
| 営 業 利 益 | 5億円<br>（0.5%） | 5億円<br>（0.5%） | 13億円<br>（1.2%） |
| 期中平均レート<br>（対USドル） | 98.64円 | 100.00円 | 103.61円 |

**総括**

売上高は前年同期より減少するも、営業利益は改善。
液晶テレビの米国大手量販店向け売上が好調。
プリンタ機器が減少するも、インクカートリッジが増収。

# 2. 下期(10-3月)の事業環境見通し

FUNAI

## 景気動向

■米　国　：米国経済の拡大は続いており回復基調。
為替も円安基調であるが、地政学的リスク(ウクライナ、イスラム国、中国)による経済の下押し、また、為替に影響を及ぼす可能性があり、警戒が必要。

■欧　州　：ウクライナ情勢の悪化から景気は足踏み傾向

■日　本　：消費税増税に伴う駆け込み需要の反動に加え、天候不順の影響から景気回復ペースは緩慢な動き

■新興国：中国では、住宅市場の悪化などから景気減速

## 業界動向

■ テレビは大型好調。北米市場はブランドの2極化加速。4Kは静観ムード。

■ プリンタは、先進国市場は成熟、消耗品も低価格化の流れ。
新興国は低価格品の流通による価格低減リスク有り。

# 3. 通期見通しの修正

| | 期初予想 | 今回予想 | 前回予想比 |
|---|---|---|---|
| 売　上　高 | 2,000億円 | 2,030億円 | ＋30億円 |
| 営 業 利 益 | 5億円<br>（0.3%） | 5億円<br>（0.2%） | ー<br>ー |
| 期中平均レート<br>（対USドル） | 100.00円 | 102.80円 | |

- 上半期の業績を反映し、売上高を期初予想より上方修正
- 営業利益は、米国経済が順調に推移するも、足元の小売売上高が前年比マイナス等、事業環境の不透明さより据え置き。

# 4. 成長戦略

FUNAI

## 成長戦略の3要素

- 既存事業の強化
- 新規市場展開
- 新規事業分野展開

### 事業ポートフォリオの再構築

既存事業の収益力挽回
新規事業展開での成長力

### 世界市場への展開

まずは米国重視
順次アジア、中米への拡大
既存商品＋新規商品

### 工場立地の最適化

フィリピン新拠点展開
豊富な労働力、英語文化圏

**全ての事業でOEM受注を加速**

# ５．事業ポートフォリオの再構築

FUNAI

## 製　品

### ■既存事業：映像機器

成熟化市場でのコスト管理の徹底と強化
市場変化を見極め、投入タイミングとコストで収益を改善

### ■新規事業：情報機器

プリンターは、日本メーカーの得意とするメカトロ製品。
顧客ニーズに対応した仕様
インクカートリッジの技術を活用して、産業用途に展開

## 地　域

北米での大手流通業との信頼関係の強み
中南米、アジアでの販売拡大が課題

# 5-a) 事業ポートフォリオの再構築 既存事業

FUNAI

## ■「テレビ」の更なる深化

市場で求められる機能を、タイミングよく製品に反映

### 高付加価値化

- 60インチ超の Super Large Size投入
- 4Kテレビも検討

### ネットワーク対応

- ネットワークコンテンツ対応の強化
- スマートフォン、タブレットとの親和性UP

### グローバル対応

- 販売地域の嗜好に対応した仕様
- 新興国での地デジ化に対応

# 既存事業の強化　:テレビのブランドラインナップ

FUNAI

■　主力の北米市場において、
ブランドラインナップを拡充し、幅広い顧客要求に応える

Emerson　Magnavox　Philips　FUNAI

更に、
三洋電機株式会社の北米におけるテレビ事業を引き継ぐ。
三洋ブランドを使用したビジネスは、平成27年3月頃を目途。

# 5-b）事業ポートフォリオの再構築　プリンター事業

FUNAI

■ インクジェット技術を活用し、中長期の収益拡大も目指す

蓄積技術による収益モデルの拡大

µFluidics
MEMS※

インクジェット
技術

機器
自主開発

機器
製造受託

民生用事務機器
機器＋消耗品
↑
機器

業務用/産業用印刷
機器＋消耗品

医療/生体分野
デバイス

MEMS（Micro Electro Mechanical Systems）
微小電気機械システム

時間軸/市場軸

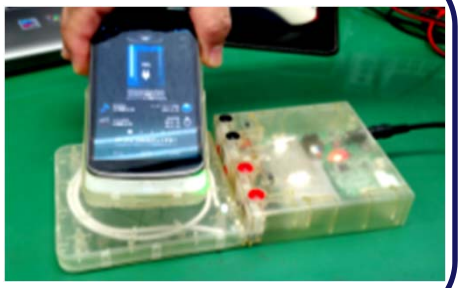
# 5-c）事業ポートフォリオの再構築　新規事業

FUNAI

■2018年度各々100億円規模を目指す。
■自社技術を活用した新商品で成長分野へ展開。

## 非接触給電

A4WPに参画
高い伝送効率
⇒設置自由度
　離れた状態で充電

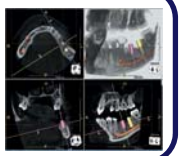


## 車載ディスプレイ

ISO　TS16949
（自動車）取得済み
（2009年中国船井電機）

## ヘルスケア/医療分野

培った技術を活用
パートナーとともに参入を検討



# 6.　工場立地の最適化

## 事業環境、労働環境変化に対応した工場立地最適化

■ 中　国　　1工場（黄江）に集約化

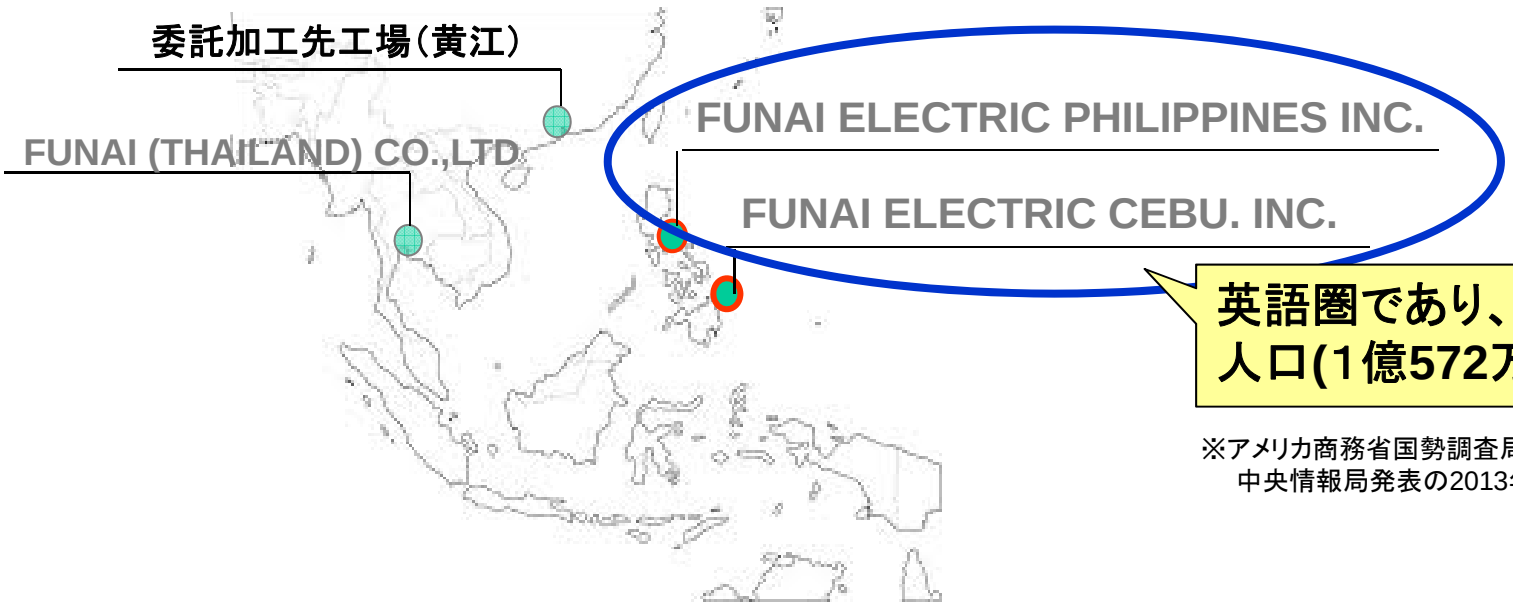
■ タ　イ　　第3工場稼働

■フィリピン　セブ工場・・・インクカートリッジ
フィリピン工場・・・プリンター本体

TV・DVD/BD・プリンター

TVの主力工場に
アジア向けの生産拠点

プリンターの主力工場に
脱AV商品も視野に




英語圏であり、 且つ豊富な
人口(1億572万人)※

※アメリカ商務省国勢調査局統計データに基づき
中央情報局発表の2013年7月度速報値

# 注意事項

本資料には、歴史的事実ではない将来の業績に関する予想及び見通しについての記載が含まれています。

これらの記載は、映像機器及び情報機器をはじめとする当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界動向、国内外の経済状況並びに為替レートの変動その他の業績に影響を与える可能性のある要因について、現時点で把握可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としています。

したがって、実際の業績は、エレクトロニクス業界における競争状況、市場動向、為替動向、新製品の導入及びその成否、税制や諸制度に関する世界的な状況を含む多くの不確実な要因の影響を受け、本記載の予想及び見通しとは大きく異なる場合がありますのでご承知おきください。

FUNAI